

すぎなみ大人“熟”してる？

J u k u s i t e r u ?

T I M E S ' 1 7

平成29年1月10日発行
発行元: 塾熟出版(事務局)

東京都杉並区梅里 1-22-32(社会教育センター内) TEL 3317-6621 FAX 3317-6620

第11号

Mission3

第13回『中間報告』

12月6日(水)

受講生 21名



すでに前回の講座から今回にかけて、自主的に集まって活動されていましたが、改めてテーマが以下のとおり正式に決まりました！

地域の楽しみ	メンバー4名
犬	メンバー5名
幸せについて	メンバー4名
男と女、未来はどうなる	メンバー4名
子育てについて	メンバー4名

今回の講座の目標は、各グループ、**Big Question** 1つを決めることです。

まずは、前回の講座を振り返るとともに、各グループで決めたテーマについて、進捗状況を発表していきましました。発表しないグループは、発表しているグループのテーマに関して、浮かんできた問いやこんなことをリサーチしてみたらという感想を書いて、各グループにメモを書いて渡しました。



各グループの発表が終わった後で、「問いのマッピング」を作成しました。

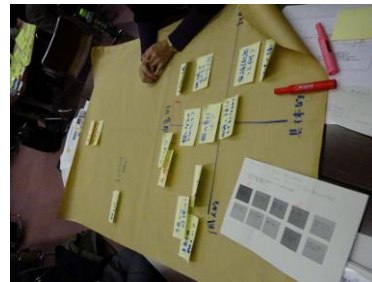
「問いのマッピング」を作成するにあたり、Big Question と Small Question を考えます。

Big Question は、自分や仲間が調べたくなるか、時代を洞察し理解する切り口になっているか、がポイントです。イメージとしては、売れそうな新書のタイトルを考える感じです。

次に Small Question をたてます。これは、どうやって調べたら良いかを考えるためのものです。



各自でたくさんの問いを付箋に書きだしていきます。



書き出した問いを模造紙の上に貼り、問いのグループ分けをしていきます。

GENERATION LABで考えたいテーマ

一市民としてこの激動の社会に向き合うために「時代(GENERATION)を読み解く能力」を一緒に身に付けていきたいと思えます。

- ・例えば、大量に溢れる情報社会を生きる上で、「調べ方」を調べてみる。
- ・答えばかりを求めてしまう中で、「考え方」を考えてみる。
- ・調べ方を調べ、考えるべき問いを見つけ、それに答えるために行動する。

今回のテーマを決めるにあたって、確認しておきたいことと、マッピングを作成するステップ。

ステップ

1. 付箋に問いを書いて模造紙にはる。
 - これまでに絞った問い・他に気になるもの・他のチームからの問い
 - 内容が近いものは近く、遠いものは遠く。
2. 関係性に線・矢印を引く。
3. Big question ・ Small question を決める。
 - Big question (主題、切り口) : 1つ
 - Small question (要素となり、リサーチに繋がる問い) : 5個以内
 - どうやったら調べられるかを考える。
 - 問いを言い換え、クリアにする。

1月24日(水)のプレゼンテーションに向けて、準備を進めていきましょう。問いをたてることで、改めて気付かされること、問いをたてるまでは、深く考えなかったこと…今までの総合コースで体感されてきたのではないのでしょうか。同じグループの中でも、年代も性別もバックグラウンドも違うメンバーと、色々問いを考えることで、さらなる気付きがあるかもしれません。

問いのマッピング

- 沢山出してきた問いの関係性を書いて Big Question を1つ決めよう!
- リサーチにつながる Small question をいくつか決めよう。

- ✓ 自分や仲間が調べたくなるか?
- ✓ 時代を洞察し理解する切り口になっているか?

- ✓ どうやって調べたら良いかわかるか?